



3年生の研究授業が行われました

3年生の子ども達は、校内全部の先生方が見に来られるということで気合十分！最初の号令から最後の挨拶まで集中して取り組んでいました。子ども達のがんばりを紹介します。

① 全員が最後までがんばる

簡単なことのように実はそう簡単なことではありません。45分間授業に集中させるには、教師の的確な指導があつてのことです。今回の算数の授業は、日常生活にありそうな場面をわり算を使って解く学習でした。鶴田先生と共に最後までやり抜いた姿に感動しました。

② 教師の問いかけに対する反応がよい

教師が何を問うのかを子ども達がしっかりと受け止め、答えています。その数は以前より随分増えています。教師もどう問うたら子ども達が主体的に考えるようになるのか、多様な考えが出されるのか思案しながらの問いかけです。それに子ども達も答えようとするところが素晴らしいと思います。

③ ノートに書く力が向上しています

3年生の西部っ子ニュースでも感じていましたが、文章量が伸びています。それは今日の授業からも伝わってきました。板書と思考のペースがほぼそろっています。これから後半は、黒板や掲示物に子どもの学びの足跡がわかるものが表れてくることだと思います。



6年生の研究授業が行われました

拡大と縮小の学習で、本時は合同の三角形の学習を基に三角形の拡大図を描く学習でした。大変緊張感のある授業でした。その様子を一部紹介します。

① 6年生らしく内省しつつ授業が進行している

高学年になると授業中に一喜一憂する姿は減ってきます。その代わりに自問自答しつつ取り組む姿が増えてきます。今回はまさにそんな1時間となりました。三角形の長さや角度が与えられ、その拡大図をまっさらな紙に描くというめあてに全員が試行錯誤しながら取り組んでいました。

② 1学期に比べ挙手や発表が増えている

挙手して発表をすることは、どの学年も課題となっています。どうしても一部の子ども達の発表によって授業が進行してしまうことになるため、教師はその状況を打破するためあの手この手を使って発表できる雰囲気をつくっています。1学期より確実に発表が増えています！この調子で頑張ってください！

③ 授業の流れがぶれずに全員が同じ方向を見ている

当たり前と思われるかもしれませんが、拡大図を描くという一点に教師も子ども達も集中していました。どの数値を使えばよいのか？ということに着目するところまで学習が進んだのもそのおかげです。全員が同じ方向で進むので、無駄がなく45分があつという間に終わった感じがしました。



神埼市教育委員会学校訪問が行われました

21日は年に一度の市教委訪問でした。この日は、末次教育長、菱岡教育委員、東部教育事務所中島指導主事様はじめ計6名の方がおいでくださり、全員の授業を参観していただきました。日頃から学校の様子は見ていただいているのですが、改めて多くのことを褒めてもらいました。3つだけ紹介します。

① 学校が明るくて整理整頓されている

玄関先ではパンジーが咲き始め、お客様を出迎えてくれますが、校舎に入るなり開口一番、「明るくなった感じがする」と言われました。その後校舎を回っていただきましたが、どの教室も整理整頓されていることに驚かれていました。低学年の雑巾がきれいにそろっていることも感心されていました。子どもを取り巻く環境の整備は何よりも大切ですが、それができていることに感心しましたと言われていました。

② 学校全体が大変落ち着いている

学校全体で取り組む必要があるような問題行動が全くなく、どのクラスでも安心して学習する子ども達の姿がありました。今日が特別ではないことも伝わってきますと、日頃の様子を感じ取っていただけたことを嬉しく思います。先日の雨の日も、濡れた傘をほぼ全員がくるつと丸めて置いていたことも紹介させていただきました。

③ 文章力が上がっている

文章力があがるには、「最後の行までびっしり書く」とこと「習った漢字を使う」ことを継続していく必要がありますが、教室の背面に貼られた作文や西部っ子ニュースの子どもの頑張りを見られ、その伸びに驚かれていました。1年半継続してきた結果がじわりじわりと出てきており、私も返事を書きながら成長を実感しています。

最後に、これまでの頑張りを今後も続け、更に伸ばしてほしいとの力強いエールをいただきました。残り5ヶ月となった令和4年度。全力で駆け抜けたしたいと思います！



< 週明けの24日の1年生、2年生の雑巾の様子 >

< 静まりかえった中に響く読み聞かせの方の声 >

おむすびチームの山下様から萩の花をいただきました。優しい色合いが素敵ですね！



実習生の高野さんの思い出は皆の心の中に刻まれました

21日は、先月27日から始まった4週間の教育実習の最後の日でした。子ども達は、先生のためにお別れ会を企画し、お礼の気持ちをしっかりと伝えることができました。全校への挨拶はビデオでとなりました。子ども達のキラキラした笑顔が印象的に残っていることとこれからもがんばってと全校に向けて話してくれました。

クラスでは、5年生一人一人に合わせ、色画用紙で作ったミニプレゼントを作ってくださいました。それは大きな感動を与えたようで、「これぜったい宝物にする」「飼育員になりたいって言ったのを先生は覚えていてくれた」と嬉しそうにペンギンを見せてくれる子もいました。浜辺先生の指導の下、この出逢いが高野さんに教師の夢を叶えたいという気持ちを強くしたこと、そして子ども達にとっても高野さんの優しさで心落ち着く時間をもつことにつながりました。双方にとって何者にも代え難い貴重な経験となりました。